

川内原子力発電所1号炉及び2号炉  
玄海原子力発電所3号炉及び4号炉

震源を特定せず策定する地震動に係る対応について

2022年3月22日  
九州電力株式会社

## 第1026回審査会合でのコメントへの対応(川内・玄海原子力発電所)

No.	コメント	対応方針
1	<p>〔モデル位置づけ〕</p> <p>既許可の地下構造モデルと新たに設定した地下構造モデルの位置づけの記載を充実すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既許可の地下構造モデルと新たに設定した地下構造モデルについて、目的や考え方を明確にし、記載を充実。</li> </ul>
2	<p>〔地盤減衰〕</p> <p>新たに設定した地下構造モデルについて、以下を踏まえ、地盤減衰の設定の考え方、根拠を明確にし、説明すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>15Hz程度までの範囲で評価した地盤減衰の高周波数帯への適用性</li> <li>地震観測記録が得られていない深さにおける地盤減衰の設定</li> <li>地盤減衰の不確かさの考え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地盤減衰について、高周波数帯を考慮した解析による根拠を追加。</li> <li>地震観測記録がない深さの地盤減衰は、友澤ほかに基づく解析による根拠を追加。</li> <li>上記検討を踏まえ、不確かさの考え方を整理。</li> </ul>
3	<p>〔地震基盤相当面〕</p> <p>地震基盤相当面は、設置許可基準規則解釈別記2の定義に従い<math>V_s=2,200\text{m/s}</math>以上の層に設定すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震基盤相当面は、<math>V_s=2,200\text{m/s}</math>以上の層に見直し。</li> <li><math>V_s=2,200</math>以上の層は、鉛直アレイ観測記録に基づくレシーバ関数等の解析により、新たに設定。</li> </ul>
4	<p>〔模擬地震波〕</p> <p>乱數位相を用いた模擬地震波の作成について、継続時間の設定を含め検討し、説明すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>M7.0、<math>X_{eq}10\text{km}</math>を考慮した模擬地震波を作成。</li> </ul>

# 震源を特定せず策定する地震動に係るコメント対応スケジュール

コメント	2022. 3	4	5	6	...
1 〔モデル位置づけ〕	記載の充実 □			▽説明	
2 〔地盤減衰〕	解析による根拠追加等 □	▽説明		▽説明	
3 〔地震基盤相当面〕	レシーバ関数等の解析により新たに設定			▽説明	
4 〔模擬地震波〕					模擬地震波作成 □ ▽説明